

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在、身体拘束についての勉強会や身体拘束についての承諾書は整備しているが、マニュアルについては整備されていないため、身体拘束の具体的内容やその弊害について理解を深めなければならない。	身体拘束のマニュアル整備。	他事業所からの情報収集およびインターネット情報などを活用し、身体拘束のマニュアル作りに取り組む。	3か月
2	35	現在、年2回日中のみでなく夜間を想定した避難訓練を実施し、消火器や避難路についても再確認している。又、3日分の非常食は準備している。年2回以上は、避難訓練を実施していない状態である。	避難訓練や自主訓練など、年2回にとらわれず、定期的(2~3ヶ月毎)に実施していく。	避難訓練・自主訓練・緊急連絡網などを組み合わせ年4回~6回実施していく。	12か月
3	3	現在、職場体験やボランティアの受け入れを行い認知症についてや個人情報保護について説明しているが、地域の講習会や勉強会の講師派遣等は行っていない状況である。	地域や役場からの要請があった時は、積極的に講師の派遣を行っていく。	地域や役場からの要請があった時は、積極的に講師の派遣を行っていく。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。